

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和7年6月24日	
愛知県知事 殿	
提出者 東京都品川区大崎二丁目1番1号 住友重機械工業株式会社 代表取締役社長 下村 真司	
住 所 愛知県大府市朝日町六丁目1番地	
氏 名 住友重機械工業株式会社名古屋製造所 所長 本田 兼志 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0562-48-5111	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	住友重機械工業株式会社 名古屋製造所
事業場の所在地	〒474-8501 愛知県大府市朝日町六丁目1番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	一般機械器具製造業、電気機械器具製造業
② 事業の規模	前年度売上高 414億円
③ 従業員数	996人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	製造所内で発生した産業廃棄物の収集運搬及び処理を業者委託 別紙『発生・処理フローシート』のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図) 別紙『産業廃棄物管理組織図』のとおり				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
① 現状	【前年度（2024年度）実績】		別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	(これまでに実施した取組) ・低稼働設備集約による切削油削減 ・助燃材の利用、排出状況の見直し ・塗料屑の利用状況の見直し ・製造ライン帳票類の削減			
② 計画	【目標】 別紙のとおり			
	産業廃棄物の種類			
	排 出 量	t		t
	(今後実施する予定の取組) ・低稼働設備集約による切削油削減継続 ・電子化の推進による製造ライン帳票類の削減継続 ・緩衝材・ビニール袋の使用削減継続			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の種類毎に保管場所を設置して分別を実施			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物量に応じた保管場所の見直し			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・排水処理汚泥の脱水処理による減容化		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・脱水機の更新による性能向上による減容化		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2024年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者の利用継続および切替		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	優良認定処理業者の利用継続、切替		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

委任状

愛知県大府市朝日町6丁目1番地
住友重機械工業株式会社名古屋製造所
所長 本田 兼志

を代理人と定め下記の権限を委任する。

令和 5年 4月 1日

東京都品川区大崎二丁目1番1号
住友重機械工業株式会社
代表取締役社長 下村 真司

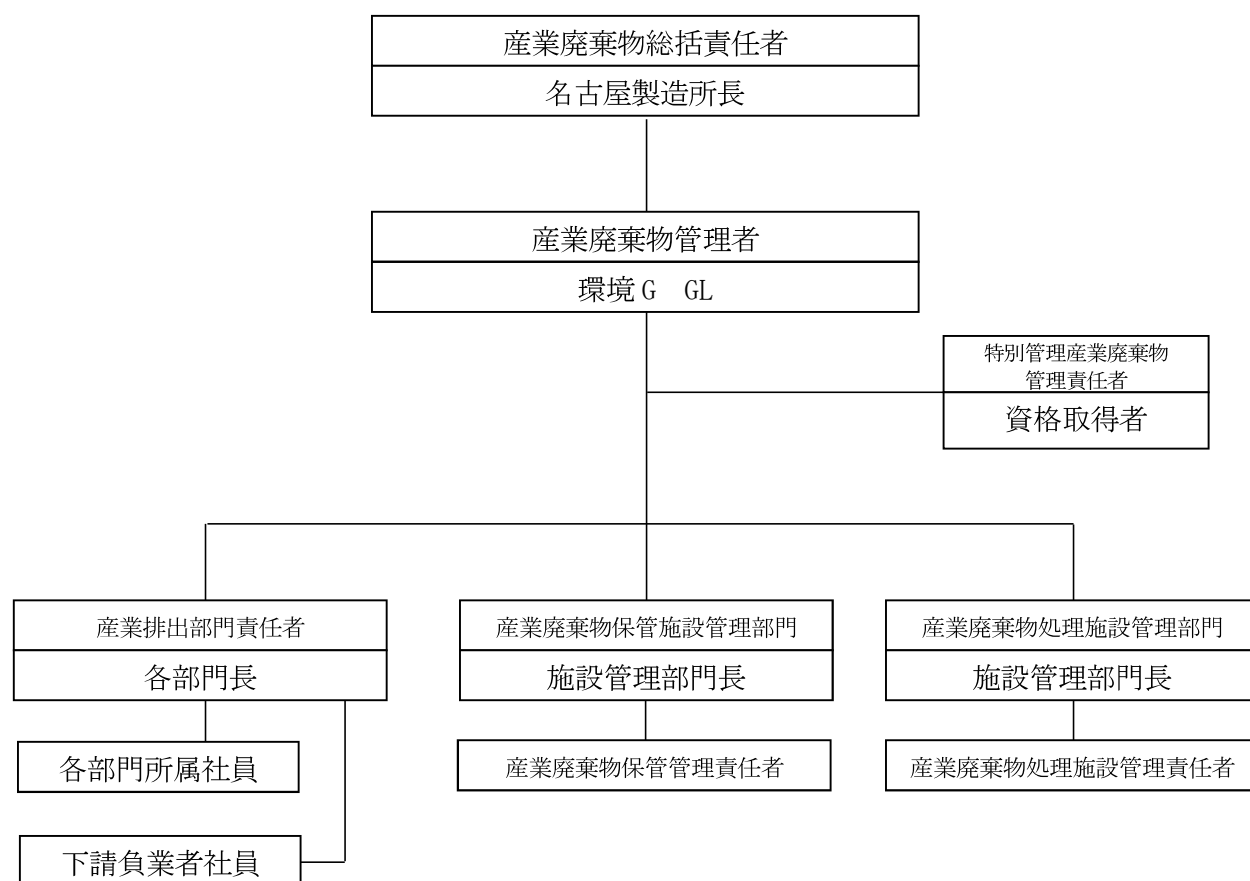


委任事項

1. 当社名古屋製造所に於ける下記の法に関する事務、手続きの一切の件
 - ★ 大気汚染防止法に関する届出及び報告
 - ★ 水質汚濁防止法に関する届出及び報告
 - ★ 愛知県県民の生活環境の保全等に関する条例に関する届出及び報告
 - ★ 愛知県廃棄物の適正な処理の促進に関する条例に関する届出及び報告
 - ★ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律に関する届出及び報告
 - ★ 下水道法及び大府市下水条例に関する届出及び報告
 - ★ 水道法に関する届出、報告
 - ★ 電気事業法に関する届出、報告
 - ★ エネルギー等の使用の合理化及び再生資源の利用に関する事業活動の促進に関する臨時措置法に関する届出、報告
 - ★ 特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律に関する届出及び報告
 - ★ 工場立地法に関する届出、報告
 - ★ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく届出
 - ★ 電波法に基づく申請、届出
 - ★ 土壌汚染対策法に関する届出及び報告

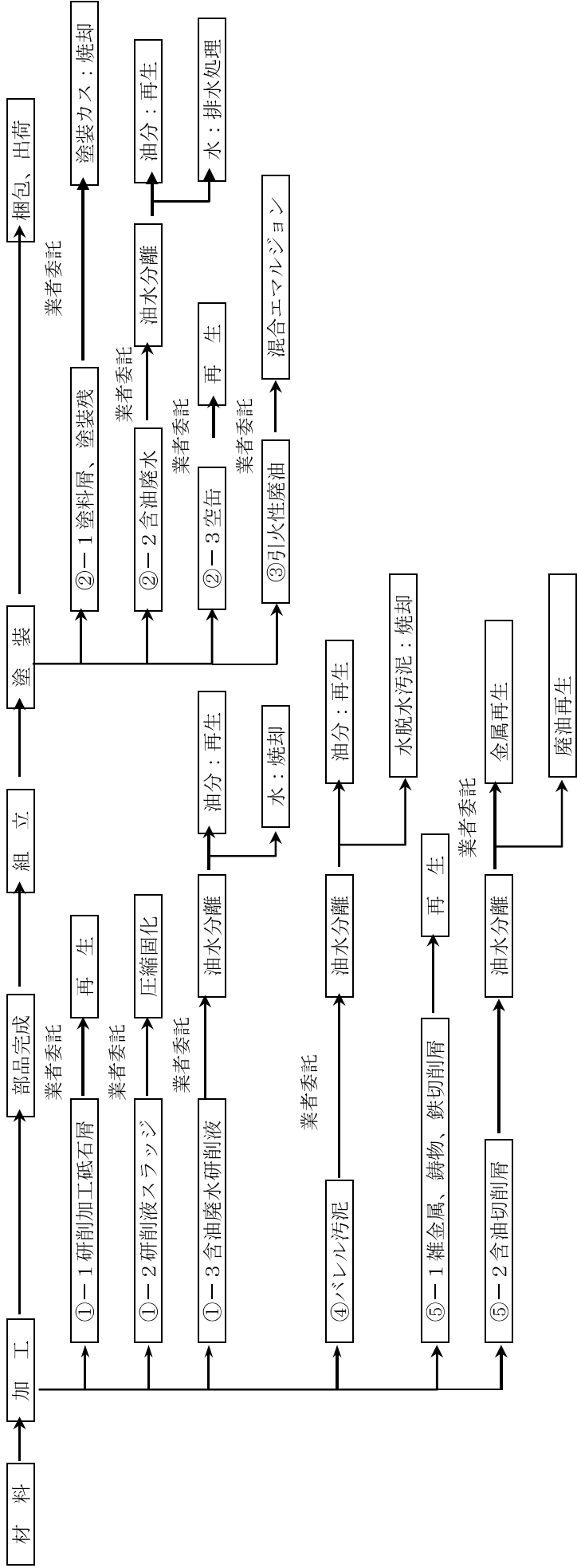
以上の通り委任状を作成する。

住友重機械工業(株)名古屋製造所
産業廃棄物管理組織図(図－１)



1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート

A. モーター・減速装置部品の加工及び組立・塗装梱包・出荷

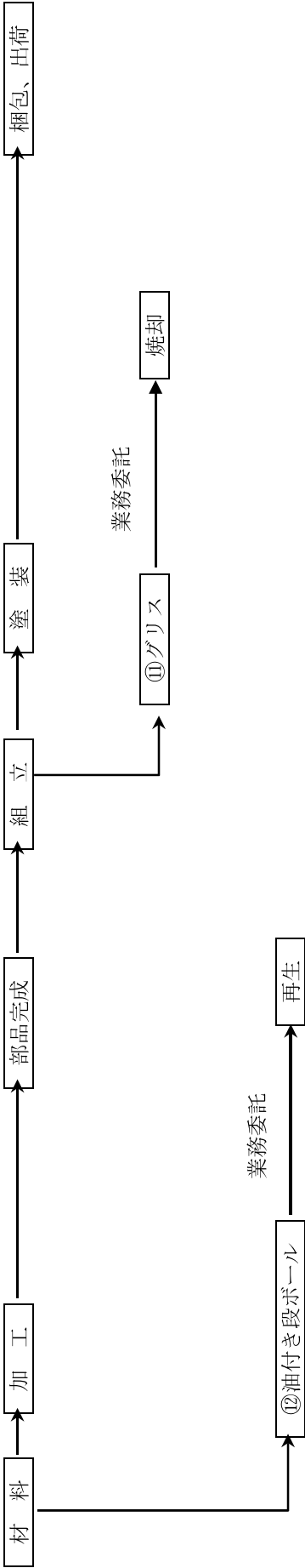


2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
がれき	研削加工砥石屑	①-1	固形状	選別	リサイクル
汚泥	研削液スラッジ	①-2	汚泥	圧縮固化	"
廃油	含油廃水 (研削液)	①-3	液状	油水分離	リサイクル
廃プラスチック類	塗料屑・ペンキ残渣	②-1	固形状	焼却	リサイクル
廃油	含油廃水 (塗装ブース)	②-2	液状	油水分離	リサイクル
金属屑	空缶	②-3	固形状	再生	リサイクル (有価物)
引火性廃油	塗料用シンナー	③	液状	混合エマルジョン	特別管理産業廃棄物
汚泥	バレル汚泥	④	汚泥	脱水	リサイクル
金属屑	雑金属、鋳物、鉄切削屑	⑤-1	固形状	再生	リサイクル (有価物)
廃油	切削油	⑤-2	液状	油水分離	リサイクル

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート

A. モーター・減速装置部品の加工及び組立・塗装梱包・出荷

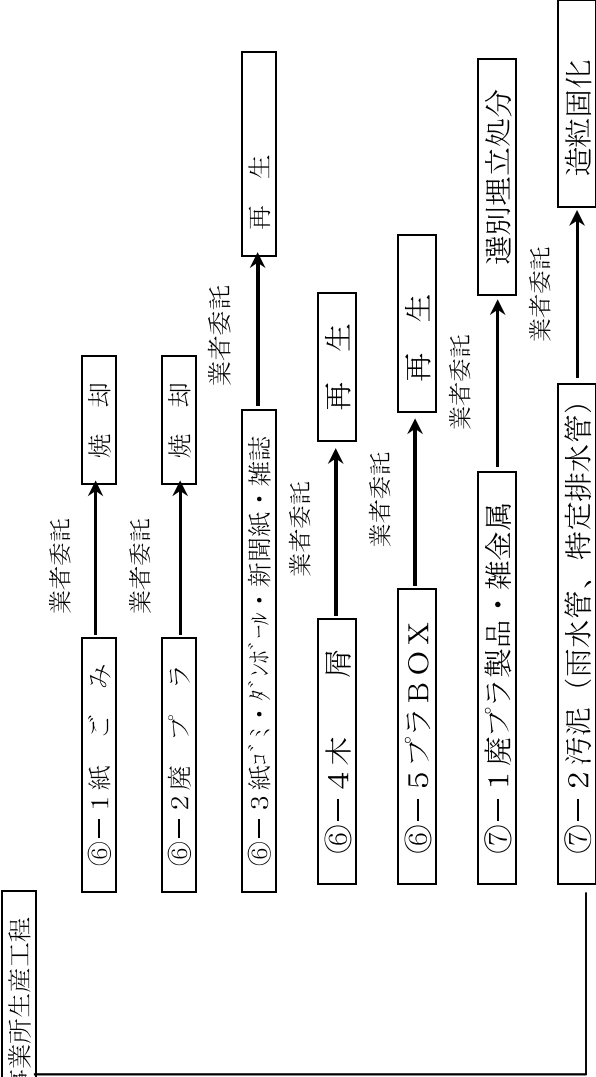


2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
廃油	廃ダリス	⑪	液状	焼却,埋立	リサイクル
廃プラスチック類	油付きダンボール (助燃材)	⑫	固形状	選別	"

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート

B. 工場、事務所から発生する紙屑等一般廃棄物・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物

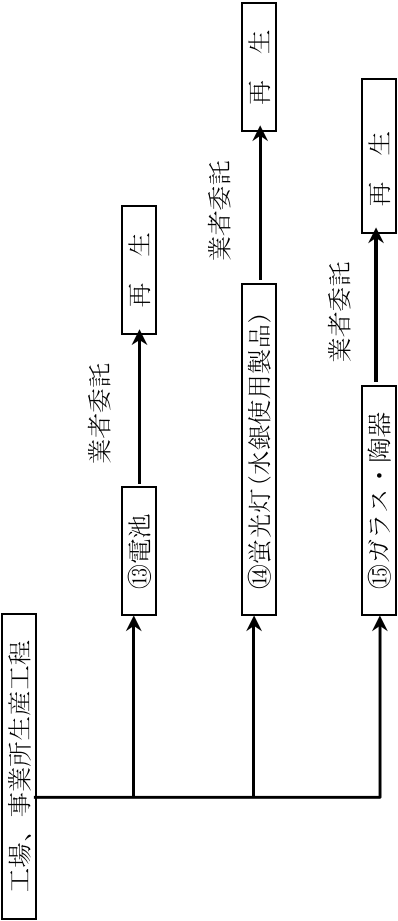


2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法 (有価物として扱われている物を含む。)

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
廃プラ・紙・繊維の 混合物	紙ゴミ、ウエス、プラスチック製品	⑥-1	固形状	焼却	リサイクル
廃プラ	ビニール	⑥-2	"	焼却	"
紙屑	紙ゴミ・ダンボール新聞紙・雑誌	⑥-3	"	再生	リサイクル(有価物含む)
木屑	木屑、おが屑	⑥-4	"	再生	リサイクル(バイオマス及び 木材チップ)
廃プラ	プラBOX	⑥-5	"	再生	リサイクル(有価物)
"	廃プラ製品・雑金属	⑦-1	"	選別埋立	リサイクル
汚泥	汚泥(雨水管・特定排水管)	⑦-2	"	造粒固化	"

1. 製造工程と産業廃棄物の発生・処理フローシート

B. 工場、事務所から発生する紙屑等一般廃棄物・産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物



2. 産業廃棄物の種類別発生量と処理方法（有価物として扱われている物を含む。）

産業廃棄物の種類	廃棄物の具体的内容	廃棄物の発生 工程番号	性状 (有害物質の有無、濃度)	処理方法	備考
汚 泥	電池	⑬	固形状	選別・焼焼	リサイクル
水銀使用製品	蛍光灯	⑭	"	破碎・脱水銀	"
ガラス屑、コンクリート屑 及び陶器屑	ガラス、陶器屑	⑮	"	選別	リサイクル

項 目			産業廃棄物の種類											合計
			廃油	廃プラスチック類	汚泥	木屑	ガラス・陶器屑	蛍光灯	金属屑					
産業廃棄物の排出抑制に関する事項	①現状(前年度)	排出量	440.152	317.713	356.895	0.790	5.020	0.090	0.046					1120.706
	②計画(目標)		436	311	350	1	5	0	0					1103
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	①現状(前年度)	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000					0.000
	②計画(目標)		0	0	0	0	0	0	0					0
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	①現状(前年度)	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000					0.000
	②計画(目標)		0	0	0	0	0	0	0					0
自ら行う産業廃棄物の埋立・海洋処分に関する事項	①現状(前年度)	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.000	0.000	225.920	0.000	0.000	0.000	0.000					225.920
	②計画(目標)		0	0	250	0	0	0	0					250
	①現状	処分量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000					0.000
	②計画(目標)		0	0	0	0	0	0	0					0
	①現状(前年度)	全処理委託量	440.152	317.713	130.975	0.790	5.020	0.090	0.046					894.786
	②計画(目標)		436	311	107	1	5	0	0					860
	①現状(前年度)	優良認定業者への処理委託量	44.342	317.713	130.900	0.790	5.020	0.090	0.046					498.901
	②計画(目標)		44	311	107	1	5	0	0					469
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	①現状(前年度)	再生利用業者への処理委託量	436.182	131.633	130.865	0.790	5.020	0.090	0.000					704.580
	②計画(目標)		432	113	107	1	5	0	0					657
	①現状(前年度)	認定熱回収業者への処理委託量	3.970	40.930	0.110	0.000	0.000	0.000	0.046					45.056
	②計画(目標)		4	41	0	0	0	0	0					45
	①現状(前年度)	認定以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	145.150	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000					145.150
	②計画(目標)		0	144	0	0	0	0	0					144